

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

[法人の評価]

■ 1. 目的適合性（公益性）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目		法人	市担当	委員会
○設立目的に沿った事業をしているか。		○	○	
○現在の社会経済状況のもとでも設立目的は有効か、希薄化していないか。		○	○	
○他の民間事業者との競合はないか。代替可能な類似の事業がないか。		○	○	
○事業廃止により市民は不利益を被るか。		○	○	
出資等法人の自己評価				
評価の理由	<input checked="" type="checkbox"/> A. 適切 <input type="checkbox"/> B. 概ね適切 （一部見直し）	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切 （一部見直し）	<input type="checkbox"/> D. 不適切 （抜本見直し）	
	① 民間団体として観光資源を活用した誘客宣伝事業が徹底されており、行政との連携とイベントを含めた観光事業が継続的に実施され、観光客入込みが十分図られていること。 ② 北上市特有のスポーツ施設を活用した大会、合宿等の誘致・支援を中心としたコンベンション活動に取り組み、誘客による地域経済の活性化に寄与している。			
市担当部課の点検評価				
評価の理由	<input checked="" type="checkbox"/> A. 適切 <input type="checkbox"/> B. 概ね適切 （一部見直し）	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切 （一部見直し）	<input type="checkbox"/> D. 不適切 （抜本見直し）	
	① 設立の趣旨に沿った活動を展開しており各種のイベント、事業を通じて地域経済の活性化に一定の効果を上げている。 ② 平成25年4月に一般社団法人として設立し、目的に沿った取組が展開されており、北上市の観光振興において大きな役割を担っており、その設立目的は有効である。 ③ 市としては、市内における観光振興を図る中心的な団体として位置付けており、観光振興という専門的な分野であることから、他の民間事業者による代替は困難と考えられる。 ④ 事業廃止により、市内に波及する経済効果がなくなり、市民が不利益を被ることが考えられる。			
政策評価委員会の評価				
政策評価委員の意見	<input type="checkbox"/> A. 適切 <input type="checkbox"/> B. 概ね適切 （一部見直し）	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切 （一部見直し）	<input type="checkbox"/> D. 不適切 （抜本見直し）	

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

■ 3. 運営状況（計画性および効率性）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目	法人	市担当	委員会
○経営の基本理念・方針を策定しているか。	○	○	
○中長期経営計画を策定し、計画的に事業運営を行っているか。	△	△	
○設立目的に沿った十分な成果を上げているか。	○	△	
○顧客ニーズを適切に把握できているか。	○	○	
○市民への情報公開を積極的に行っているか。	△	△	
○効率的な組織体制となっているか。（職員の技術力・専門性は十分に確保されているか、また適切な人員配置ができているか。）	△	△	
○役職員の人件費は適切か。	○	○	

出資等法人の自己評価

評価の理由	<input checked="" type="checkbox"/> A. 適切	<input type="checkbox"/> B. 概ね適切 (一部見直し)	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切 (一部見直し)	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
	① 基本理念・方針は、定款の目的に明記している。 ② 事業は単年度計画実施（会計）となっていることから中長期経営計画の策定を行っていないが、事業計画の策定にあたっては中期的な視点にたって策定している。 ③ 設立目的に沿った一定の成果を上げている。 ④ 観光案内所、ホテル、旅館などを通して、観光客のニーズを把握している。 ⑤ ホームページや観光案内所を通して、情報提供を行っているが、更なる情報提供が必要と考えている。 ⑥ 業務量に比べ常勤職員数が少なく、財源確保も難しく、適正配置が出来ていない状況であるが、当初の目的に沿った取組みを行っている。			

市担当部課の点検評価

評価の理由	<input type="checkbox"/> A. 適切	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね適切 (一部見直し)	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切 (一部見直し)	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
	① 基本理念・方針は、定款の目的に明記されている。 ② 具体的な中長期的経営計画が策定されていないが、事業実施に向けては中期的な視点のもと毎年度事業計画を策定し取り組んでいる。今後は新たな中長期的な計画が必要と考える。 ③ 設立目的に沿った成果を、ある程度上げていると考えられるが、コンベンション事業の誘致活動など新規事業の取り組みや自主財源の確保の努力が必要である。 ④ 観光案内所、ホテル、旅館などを通して、観光客のニーズを把握している。 ⑤ ある程度情報公開を行っているが、ホームページなどで常に新たな情報提供の充実を図る必要がある。 ⑥ 昨年度に比べ職員が1名減少したため、一人あたりの業務量が増え、目先のイベントに取り組むことが精一杯となっており、人員の確保及び組織体制の見直しを図る必要がある。 ⑦ 役員は無報酬であり、職員は市の基準及び商工会議所の基準を参考にした独自の給与形態となっている。現状の財政状況と市の補助金を考慮すると、これ以上の市からの支援は難しい状況にある。			

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

政策評価委員会の評価				
政策評価委員の意見	<input type="checkbox"/> A. 適切	<input type="checkbox"/> B. 概ね適切 (一部見直し)	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切 (一部見直し)	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)

[市の関わり方の評価]

■ 4. 市の施策との関わり（市の方針評価）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目	市担当	委員会
○市の施策と法人の設立目的、活動内容は適切な方向性にあるか。	○	
○市の期待する成果を十分に上げることが見込めるか。	△	
○市の財政的・人的関与状況は適切か。	△	
○市の方針によらない場合に、市民が不利益を被るか。	△	

市担当部課の点検評価				
評価の理由	<input type="checkbox"/> A. 適切	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね適切 (一部見直し)	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切 (一部見直し)	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
	① 協会の定款における目的・事業内容は、市が目指すべき観光振興の基本方針及び施策と合致しており、その方向性は適正である。 ② 今年度より一般社団法人となり、中長期的な視点に基づき、関係団体との連携や協働をより強めることにより、なお一層の事業展開が期待できる。ただし、そのためには、市が積極的に関わっていく必要があると考える。 ③ 財政支援団体として、市は今後も事業計画や内容などを精査しながら、市の基準に基づく適切な支援が必要と考えているが、観光振興にかかる協働のパートナーとしての自立が求められている。 ④ 市の方針によらない場合、地域経済への波及効果が図られなくなり、市民に不利益を生じる。			

政策評価委員会の評価				
政策評価委員の意見	<input type="checkbox"/> A. 適切	<input type="checkbox"/> B. 概ね適切 (一部見直し)	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切 (一部見直し)	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

■ 5. 総括意見

政策評価委員の意見	
-----------	--

■ 6. その他特記事項・参考意見等

政策評価委員の意見	
-----------	--

■ 7. 市と協働して事業を行ううえでの市に対する意見等

出資法人等の意見	平成24年度から実施しているコンベンション事業について、当面スポーツを中心とした誘致・支援を、スポーツ団体をはじめ宿泊・交通・物産関係者と連携して取り組み、当市の経済の活性化を図るべく活動しているが、当協会の人的体制の中では対応しきれない状況であることから、職員派遣等の人的支援を検討願えないか要望いたします。
----------	---

北上市出資法人等協働評価シート(基本情報確認用)

■ 1. 法人の概要

法人名称	一般社団法人北上観光コンベンション協会	担当部課名	商工部商業観光課
代表者名	会長 八重樫 守民	設立年月日	平成25年4月1日
所在地	北上市大通り一丁目3番1号	電話番号	0197-65-0300
設立目的	北上市及びその周辺地域における観光事業の振興を図り、もって地域経済の活性化並びに文化の向上に寄与すること。		
事業内容	①観光資源の調査研究及び観光開発の促進に関する事業 ②観光情報の収集および情報提供並びに観光客の誘致に関する事業 ③観光関係施設の改善及び整備促進に関する事業 ④観光、物産、民俗芸能、伝統文化等の紹介宣伝に関する事業 ⑤観光土産品・特産品の開発及び紹介宣伝並びに販売促進に関する事業 ⑥各種大会、会議、イベント等のコンベンションの誘致及び支援に関する事業 ⑦観光施設の管理運営に関する事業 ⑧物産展示販売施設の運営及び物産販売に係る収益事業 ⑨観光行祭事等の開催及び支援に関する事業 ⑩観光関係機関及び団体との連携協力に関すること ⑪その他この法人の目的を達成するために必要な事業		

■ 2. 設立の経緯と市の関与

設立の経緯と市の関与(設立時からこれまでの経緯)	・(旧北上市)市の観光課長が事務局長を兼任。観光課職員が事務局員を兼任。事務室は観光課内(隣)に置く。 ・事務局長を非常勤として採用。 ・事務局員を採用。 ・平成3年、3市町村合併に伴い、北上・和賀・江釣子の3観光協会が合併し発足。 ・平成14年、現在の場所に移転
--------------------------	--

■ 3. 資本金等の状況

H25.3.31現在

資本金(基本財産)	0千円	うち市出資額(出えん額)	0千円	市出資等割合	##### %
その他の主な出資者(出えん者)	出資者(出えん者)の名称		出資等金額	出資等割合	
	①		千円	#DIV/0! %	
	②		千円	#DIV/0! %	
	③		千円	#DIV/0! %	
	④		千円	#DIV/0! %	
	⑤		千円	#DIV/0! %	

■ 4. 役職員の状況

H25.3.31現在(4/1現在)

役員数	常勤役員			非常勤役員			合計
		うち市OB	うち市派遣		うち市OB	うち市派遣	
	1	1	0	22		0	
職員数	常勤職員			非常勤・臨時職員			合計
		うち市OB	うち市派遣		うち市OB	うち市派遣	
	2	0	0	14		0	
役員の平均年齢		62.0才		常勤職員の平均年齢		42.5才	

北上市出資法人等協働評価シート(基本情報確認用)

■5. 情報公開の状況

情報公開規定の有無	<input type="checkbox"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 無し	ホームページの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し
情報開示の方法					
ホームページアドレス	http://kitakami-kankou.jp/				
ホームページでの経営状況等情報提供内容					
<input type="checkbox"/> 定款	<input type="checkbox"/> 役員名簿	<input type="checkbox"/> 事業報告	<input type="checkbox"/> 財務諸表		

■6. 財務状況

単位:千円

【決算書】	H22年度	H23年度	H24年度	備考
収入	105,114	124,845	135,387	3会計の合計
うち事業収入	65,202	116,680	87,741	
支出	102,827	122,071	133,632	
うち事業費	78,165	93,975	106,677	
うち管理費	4,201	6,618	6,240	
うち人件費	17,609	18,629	17,866	
当期収支差引	2,289	2,776	1,757	
【財務指標】	H22年度	H23年度	H24年度	
人件費比率 (人件費÷支出総額)×100	17.1%	15.3%	13.4%	

■7. 市の財政的関与の状況

単位:千円

項目	H22年度	H23年度	H24年度	備考
補助金・交付金	36,298	31,868	40,953	
委託料	44,691	49,574	38,107	
出資金(追加額)				
その他(使用料等)				
合計	80,989	81,442	79,060	
損失補償契約に係る債務残高				
貸付金残高				
指定管理施設の名称				

北上市出資法人等協働評価シート(基本情報確認用)

■8. 職員研修の実施状況

研修の種類及び名称	当該年度の受講者数		
	H22年度	H23年度	H24年度
職員接遇研修会	11	10	9
おもてなしの心向上研修会(岩手県観光協会主催)			2
観光施設研修会			9
地域観光案内人研修会			6

■9. 設立目的に沿った事業の実施に有効な資格の取得状況

資格の種類及び名称	当該年度末の有資格者数		
	H22年度	H23年度	H24年度

■10. 事業の実績概要

事業名称	活動実績・成果
各種イベントの実施	①北上展勝地さくらまつり(入込数415,000人) ②夏油高原新緑まつり(入込数4,000人) ③みちのく芸能まつり(入込数264,000人) ④きたかみB級ご当地グルメフェスタ2012(入込数32,500人) ⑤夏油高原紅葉まつり(入込数12,000人) ⑥北上・西和賀にぎわいフェア(入込数6,000人)
東北観光博推進事業 (北上市委託事業)	①まちなか民俗芸能(43回開催) ②各種(産業、歴史、自然)ツアー開催(13回開催) ③旅の駅設置と地域観光案内人育成(案内人48人、旅の駅35件)
北上観光コンベンション事業 (北上市補助事業)	①開催情報の収集(8大会) ②開催支援活動(6大会) ③コンベンションガイドの作成(3,000部)
北上駅観光案内所運営事業	①運営日数(361日) ②観光案内(4,507人) ③交通案内(5,209人) ④宿泊案内(57人) ⑤物産品案内(1,116人) ⑥その他案内(5,738人) ⑦電話案内(3,492人)

北上市出資法人等協働評価シート(基本情報確認用)

■11. 市の施策との関係(これまでの活用効果及び今後の市の方針)

市の施策	<p>北上市をPRするため地域の特色を活かしたイベントの充実を図る。 継続的な観光振興のため、事業を展開する団体に対して支援を行うほか、コンベンション機能による市内観光団体の統合的なネットワークの構築を図る。</p>
これまでの活用効果	<p>北上市観光コンベンション協会は、当市の観光振興の中核を担っており、さくらまつりや芸能まつりでの企画・実施に中心的な働きを担っているほか、他の実行委員会方式のイベントにおいても経験等を活かし各イベントを支えている。</p>
現在の課題	<p>①北上コンベンション協会が、安定した経営基盤を確立するため、収益事業など新たな事業を展開し、自主財源を確保を図ることが必要となっている。 ②コンベンション部門の設立により、コンベンション誘致及び受入体制の強化を図るため、各種団体との連携が必要となっている。 ③組織体制の強化を図るため、現行人員における新規事業への対応を含めた役割分担や取組の範囲の見直しを図るとともに、人材育成の強化が必要となっている。</p>
今後の市の方針	<p>今後も北上市の観光振興の中核を担う組織として自立できるよう支援を行う。 コンベンション事業の拡充が図られるよう連携を強化していく。</p>